

令和3年度広島体育学会研究例会開催のご報告

令和3年12月20日

令和3年12月11日（日）に、令和3年度広島体育学会研究例会が開催されました。特別講演では、2020東京オリンピック競技大会にも出場したエディオン女子陸上競技部の木村文子さんと、広島大学助教の尾崎雄祐さんをお招きし、各演題でのご講演及び座長も含めたディスカッションで会場を盛り上げていただきました。

また、研究発表では、6名の発表者の話題提供発表及び一般研究発表が行われ、多様な研究分野の知見を深めることができました。その中で、学生優秀発表賞は、広島大学大学院人間社会科学研究科の佐々木衆さんに授与されました。おめでとうございます。

研究例会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。



特別講演講師の木村文子さん（エディオン女子陸上競技部）と尾崎雄祐先生（広島大学）



学生優秀発表賞を受賞した佐々木衆さん（広島大学大学院人間社会科学研究科）
演題：サッカーにおけるゴールキーパーのダイビング動作について

令和2年度広島体育学会奨励賞の授与のお知らせ

令和3年12月20日

令和2年度に、筆頭著者として「広島体育学研究」及びその他の学術誌に発表された体育学に関する論文、著書を対象に募集・選考を行った結果、下記の論文が受賞されました。今年度は、研究例会において授与式を行うことができなかったため、個別に奨励賞の授与を行いました。広島体育学会では、このような取り組みを通じて、若手研究者を応援しています。

受賞者：房野真也

受賞論文：房野真也・磨井祥夫・大塚道太・塩川満久・丸山啓史・森木吾郎・白石智也（2020）サッカーのインサイドキックにおける高低の蹴り分けに関する運動学的研究. 運動とスポーツの科学, 26（1）：69-76.



学会役員から賞状と賞金を授与しました